



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

6月号

令和5年5月31日
横浜市立境木小学校
校長 清見克明

新しい「さかいぎチャレンジカップ」を目指して

副校長 本田 昌彦

4月中旬、「今年度は、全校開催とします。しかし、決してむりはしない。種目は、開閉会式、徒競走、団体演技、高学年リレーとしましょう。」という基本方針が決定しました。

4年ぶりの全校開催です。児童507人と保護者・家族、来賓を合わせて、1500人以上が校庭に入った場合、混乱なく移動は可能だろうかという安全面の問題は、一方通行をしていただくという対策をとりました。

練習が始まりました。高学年リレーの練習では、身体能力が高い代表選手でさえ、初めのころは、走り方を忘れたかのようなぎこちない動きでした。バトンパスは、特に長いブランクの影響が感じられました。しかし、指導をする教職員が、走り方のコツが書かれたものを常に掲示し、また、担当者が力を集結して、丁寧に個に応じた指導を繰り返しました。各色のチームワークも向上するなど、子どもたちの成長は素晴らしく、本番1週間前には、力強い走りを見せてくれるようになりました。

異常気象による気温の上昇は、練習の最大の敵でした。各ブロックの演技練習当日は、気温30度に迫る勢いでした。水分補給を必ず行い、教職員は、暑さ指数を測定する機器と、児童の体調に常に気を配っていました。子どもたちの体力を考え、日陰での休憩時間を多くとりながら、練習を続けました。

子どもたちの「運動会を楽しみたい」という思いを受けて、教職員が一つの形を提示しました。実行委員会の児童を中心に、運動会スローガンが、体育館の窓に大きく張り出されました。それは、校庭のどの場所からも仰ぎ見ることができました。

そして、運動会本番を迎えました。



運動会当日は、快晴の暑い日差しを浴びながらも、多くの皆様に参観していただき、また、学校運営協議会の委員の皆様、地域の皆様に、来賓としてご臨席を賜り、本当にありがとうございました。

「全力・協力・チャレンジアップ ～みんなで楽しもう!思い出に残るさかいぎチャレンジカップ～」のスローガンが体現され、子どもたちの頑張りを、お見せできたことをうれしく思います。全員で行事に取り組んでいるという一体感が感じられました。

新しい「さかいぎチャレンジカップ」を目指して、昨年度までのブロック開催から、一歩進めることができました。子どもたちにとって価値のある「さかいぎチャレンジカップ」への模索は、まだまだ続きます。これからも本校の教育活動への、ご協力、ご支援をよろしく願います。